



大崎上島町立大崎小学校入学式

総務委員会だより



令和3年度予算 ————— 2・3
 主な新規事業 ————— 4
 決まった主なこと ————— 5
 わか町の予算の主なやり取り - 6・7

6 議員が一般質問 ————— 8～13
 委員会報告 ————— 14・15
 議会構成・新議員構成 ————— 16・17
 あれから・編集後記 ————— 18

令和3年2月定例会
 第72号/2021年5月7日

予算を可決

予算総額(一般会計+特別会計+水道事業会計)
今年度の町債(借金)

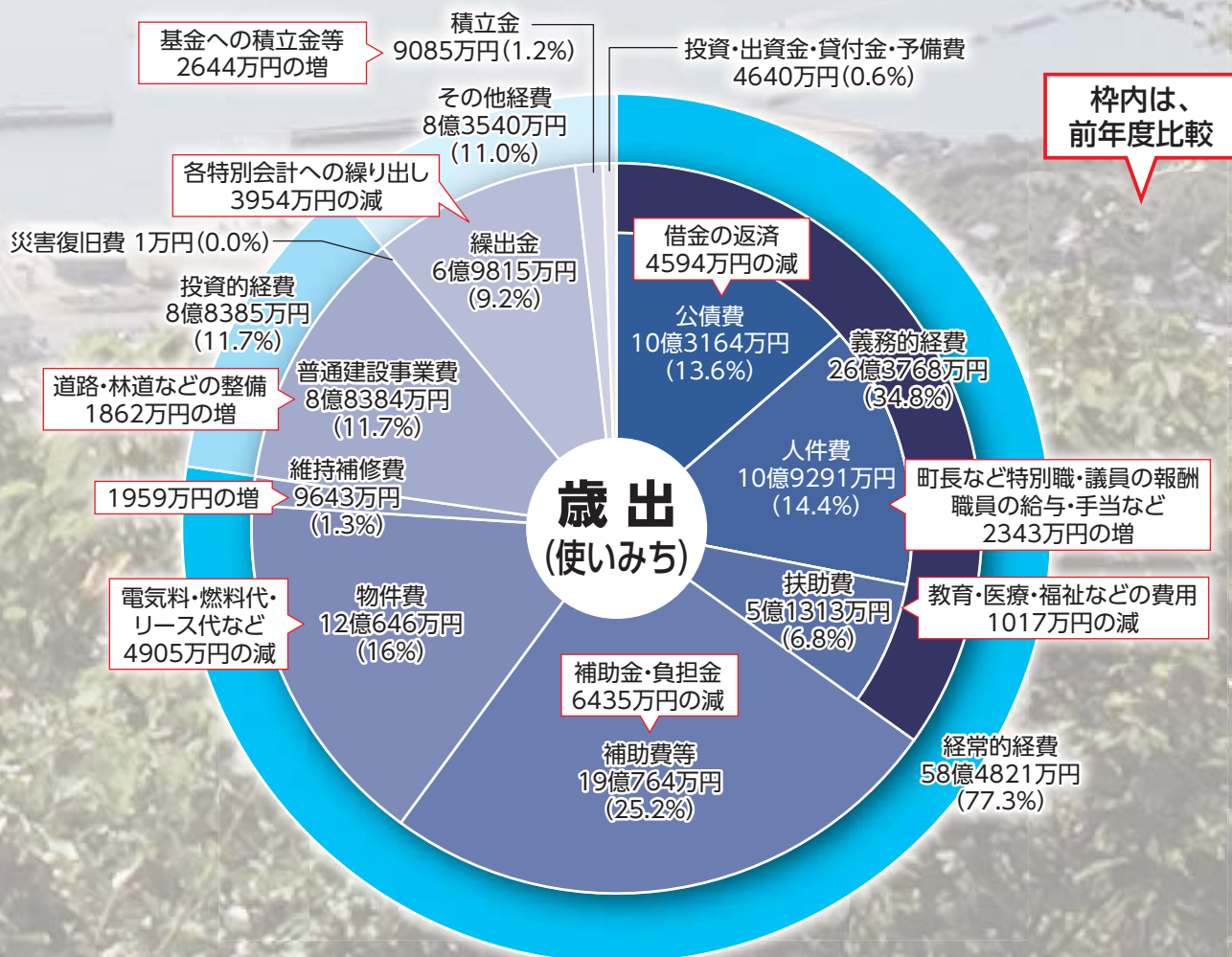
会計別予算総括表

会計名	予算額	前年度比%	
一般会計	75億6746万円	△1.5%	
特別会計	国民健康保険事業	10億248万円	10.4%
	介護保険事業	15億5742万円	2.0%
	後期高齢者医療保険事業	1億8070万円	△0.3%
	公共下水道事業	3億6119万円	88.9%
	農業集落排水事業	4272万円	△2.6%
	漁業集落排水事業	7188万円	△48.3%
	港湾管理	2109万円	9.3%
	漁港管理	539万円	46.9%
	交通事業	9482万円	△2.7%
	干拓地管理	694万円	△61.1%
合計	33億4463万円	6.9%	
水道事業会計	6億204万円	△9.8%	
合計	115億1413万円	0.3%	

令和3年度第1回大崎上島町議会定例会は、2月16日から2月26日まで開かれました。

町長の施政方針の表明があり、条例改正を含む議案等、2月補正予算、新年度一般会計及び特別会計予算・水道事業会計、新年度補正予算を審議し、全ての案件を可決しました。

一般質問では6人の議員が、町政の課題などについてたどしました。



令和3年度

第1回定例会
(2月議会)

115億1413万円
16億8340万円

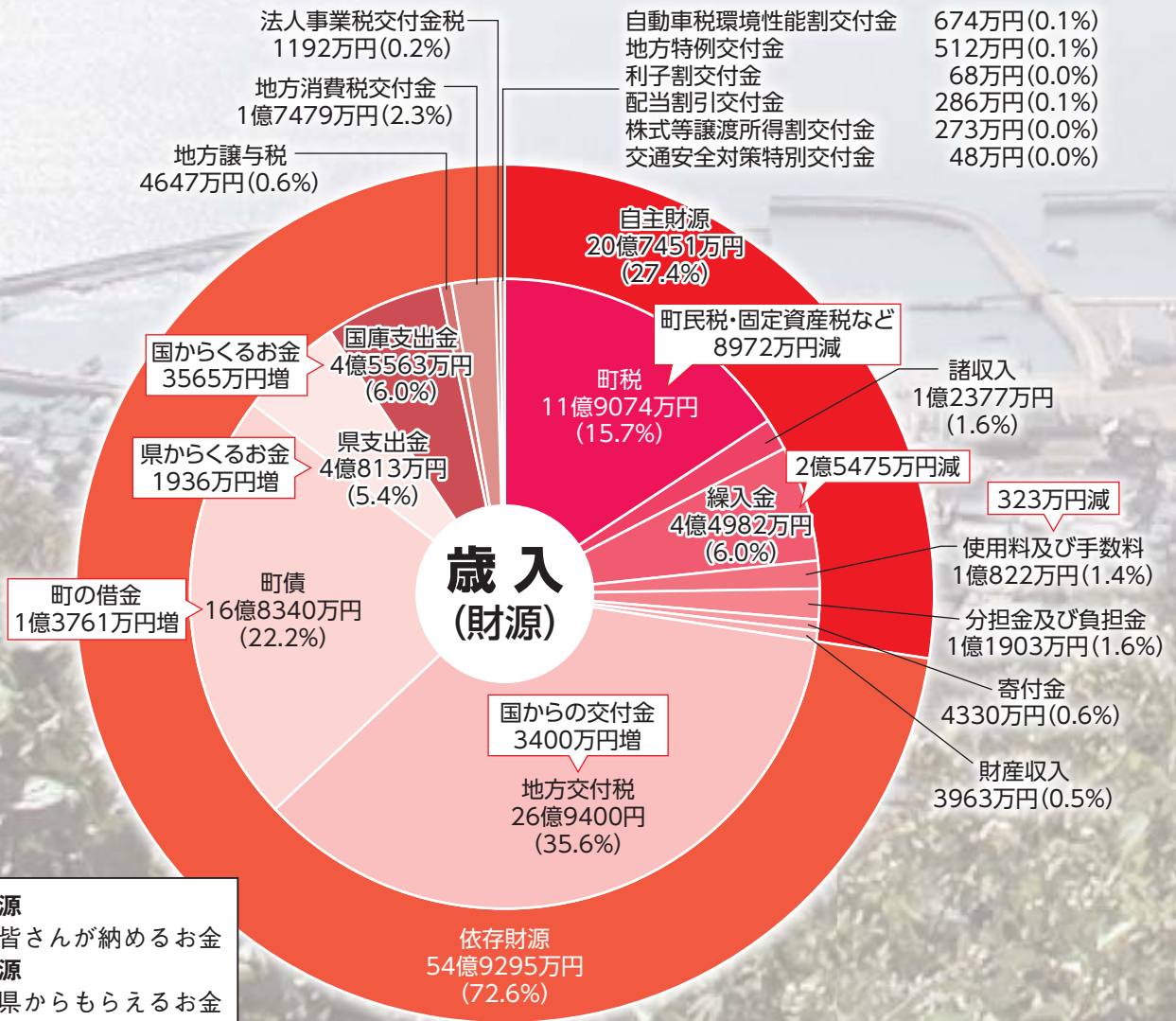
令和3年度一般会計予算 75億6746万円

対前年度比
1.5%
減額

[町長施政方針より抜粋]

町の目指す将来像「海景色の映えるまち～地域資源を活かした理想郷の実現～」を目指し、4つの施策を重点に置き、最大限の効果を発揮するよう取り組んでいく

1. 「教育の島構想の推進」
2. 「健康でいきいきと暮らせる町」
3. 「活力ある地場産業の育成」
4. 「安心・安全に暮らせる町」



今年度の 主要・新規事業



太陽光発電設備設置事業

(上組・生野島・本郷・岡部)

災害時の避難施設に位置づけられている集会所等に、順次、太陽光発電システムを設置し、停電時の電源確保により、防災体制の強化を図る。また、太陽光発電による二酸化炭素の削減で地球温暖化対策にも積極的に取り組む。

事業費 5328万円

農業集落排水事業、

公共下水道事業統合建設事業

公共下水道施設と大串地区の農業集落排水施設を統合し、町内下水道維持管理費等の節減に向けた効率化に取り組む。

事業費 2億168万円

救急患者輸送艇等整備事業

救急患者輸送艇内の医療機器の更新を行う。

事業費 830万円

悪水溜池排水施設整備事業(垂水)

排水能力強化のための、ポンプ所改修工事を行う。

事業費 1億942万円

カーボンリサイクル推進事業

2019年9月の第1回カーボンリサイクル国際会議において、本町はカーボンリサイクル実証研究拠点に指定された。このことを受け、経済産業省と共同で地球温暖化対策としての「脱炭素型地域づくり」に向けて取り組む。

事業費 1000万円

大串キャンプ場・野賀海水浴場 整備計画策定事業

町内の観光スポットである大串キャンプ場と野賀海水浴場の利便性を向上し、施設としての魅力アップを図るため、総合的な整備計画を策定する。

事業費 468万円

第1回定例会(2月議会)

決まった主なこと

- ・固定資産評価委員会委員

氏名 長尾 孝氏 (再任)
高橋 正裕氏 (再任)
越田 昌宏氏 (新規)

- ・人権擁護委員

氏名 石本 五十鈴氏

- ・大崎上島町課の設置条例の一部を改正する条例

- ・大崎上島町債権管理条例

- ・大崎上島町精神障害者医療費支給条例

- ・行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例

- ・令和3年度大崎上島町一般会計予算

- ・令和3年度大崎上島町国民健康保険事業特別会計 他9特別会計予算

- ・令和3年度大崎上島町水道事業会計予算

- ・令和2年度大崎上島町一般会計補正予算 他5特別会計補正予算、水道事業会計補正予算

- ・公の施設の指定管理者の指定 4件



スマホやタブレットに無料アプリ「マチイロ」をインストールすることで、いつでもどこでも議会だよりを読むことができます。ぜひ、ご利用ください。(※議会だよりは定例会後の発行のため年4回です。)



ios



android

主なやりとり

【問】ふるさと納税推進事業の詳細は。

【越田議員】

【答】寄附金に対する返礼品等を発送する事業で、本年度の実績見込み等に伴い、次年度は大幅に増額としている。

【総務企画課長】

【問】放課後デイサービスで使用する旧大崎幼稚園の周辺整備は。

【越田議員】

【答】現地を調査し、必要があれば対策する。

【総務企画課長】

【問】有害鳥獣対策モデル事業ではモデル地区以外は守れない。発想の転換が必要では。

【越田議員】

【答】他自治体の取り組みも調査し、対策を強化していく。

【地域経営課長】

【問】コロナ禍での体験型修学旅行のあり方は。

【越田議員】

【答】広島湾ベイエリアで受入れ時のガイドラインを作っている。

【地域経営課長】

【問】常備消防費6,441万8,000円減額の理由は。

【前田議員】

【答】昨年度、大崎上島消防署に高規格救急車等を整備した金額。

【総務企画課長】



【問】カーボンリサイクル推進事業は、経産省の事業とは違う、町独自のものと認識しているが、詳しく説明を。

【水橋議員】

【答】大崎クールジェンで実施されるカーボンリサイクル事業の実証実験に併せて経産省の中国経済産業局との共同事業としての位置づけで、本町ゼロカーボン自治体を目指して、脱炭素の事業展開を図ることを目的として町独自が行うもの。

【総務企画課長】

【問】大変な危険を伴いながら有害鳥獣駆除をしている猟友会に適切な支援を。

【水橋議員】

【答】猟友会と協議しながら検討する。

【地域経営課長】

【問】町の政策立案時に必要な統計調査をもっと行うべき。

【閑田議員】

【答】個々の政策段階でそれぞれ個別にアンケート調査を実施している。

【副町長】

【問】一応の歴史的役割を終え、今後老朽化が進むふれあいの館を大串海岸に移設して集客力を高めては。

【閑田議員】

【答】そのような構想も頭にはある。理想的な形だとは思っている。

【町長】



わが町の予算

問 新規就農に関してU・Iターン支援だけでなく、後継者育成にも力を入れるべき。

【閑田議員】

答 バランスを取りながら農協と協力して取り組む。

【地域経営課長】

問 ルンビニ幼稚園の活用方法は。

【閑田議員】

答 現在、廃園の手続きが進められている。終了次第、町に戻してもらおうことになっている。

【副町長・町長】

問 労基法で週休2日制の強化が行われているが、公共工事の現場で働く労働者の労務単価への反映は。

【閑田議員】

答 国交省などの大規模な工事では経費の嵩上げなどで対応しているが、当町発注工事の規模は小さく、実情に合わないから実施して

いない。

【建設課長】

問 クールジェンの固定資産税の推移は。新しい設備が出来ることによる見込みは。

【尾尻議員】

答 クールジェン施設は実証実験設備であり、償却資産の主な耐用年数が4年となっている。現在3年目で、かなり少なくなってきた。

【住民課長】

問 町道大久保線は現在、利用者がいないと思うが改良事業を実施するののか。

【森若議員】

答 トンネルが狭く老朽化していることから事業を実施します。

【建設課長】

問 海上交通の運航欠損補助事業は現在予算額が1億を超えているが、人口減少に伴いさらに増加する。上限を設定しておかないと無限に増大するのでは。

【道林議員】

答 どこまでやるかは常に考えているが、安易に航路廃止すれば負のスパイラルに陥る。データを収集しつつ適切に行う必要がある、という危機感を持っている。

【町長】

問 税収へのコロナ禍の影響による減収見込みは。

【越田議員】

答 現段階では把握してい

ないので計上していない。

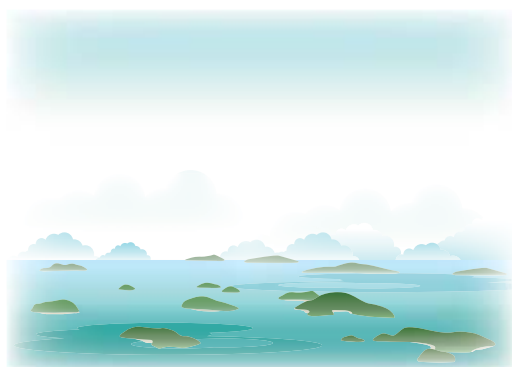
【住民課長】

問 西野干拓地はいつまで受け入れ可能なのか。

【閑田議員】

答 処分場と県道改良で当面の間は受け入れ可能。

【総務企画課長】



一般質問

町政を問う

6人の議員が11項目を質問



かん だ たいすけ 議員
関田 大祐

質問（関田議員）

NHKの報道では、大阪大学の調査で協力が得られた全国の31の市町村で、2013年から4年間にがん検診を受けた二十歳から24歳の女性のうち、子宮頸がんやがんの前段階に当たる組織の異常と診断されたおよそ2,500人全員と、異常が見られなかった1万2,000人余りの合わせておよそ1万5,000人を対象にデータを分析し、このうち子宮頸がんワクチンを接種していた女性はおよそ3,000人で、分析の結果ワクチンを接種した人は接種していない人に比べ、がんの前段階に当たる軽度の組織異常になるリスクがおよそ58%低くなり、さらに中程度の組織異常と

問

子宮頸がんワクチンの推進を

答

町独自の啓発等を実施していく

なるリスクはおよそ75%低くなっていった。

ヨーロッパでの高い接種率とそのワクチンの成果、

効果なども最近報道があったが、日本では一部報道機

関による副作用、副反応への不安を必要以上におおる

報道により、接種率が高まっていない。厚生労働省

の2017年の統計によると、子宮頸がんを患う女性

は年間約1万1,000人、死亡者は約2,800人と

なっている。これらのことを踏まえ、島の子供たちの

健やかな成長と明るい未来のため、そして教育の島も

標榜し、将来の町を担う人材を育成するとしている我

が町において、これらのマスコミ等の妙な批判を恐れ

ずに、ワクチン接種への支

援の拡充等を実施していくべきだと考え、他市町に先

駆けた施策を求めるが、町長の見解は。

本町の子宮頸がんワクチン接種については、平成25

年に国がワクチン接種による副作用を懸念し、積極的な勧奨を中止した結果、こ

数年は接種者はいない状況。今年度は、小学校6年生から高校1年生までの対

象者に、厚労省のチラシで接種の勧奨のチラシと、本

町の無料接種の案内を送付し、3名の方が接種を受け

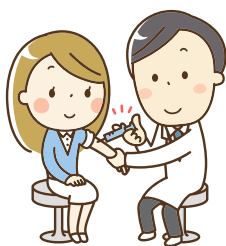
た。対象者170名中3名という低い数字ではあるが、

チラシの効果で接種があったと考えると町としても独自のチラシや啓発を実施し

答弁（保健衛生課長）

ていく必要があると考えている。

今後は、子宮頸がんワクチン接種による副作用のリスクと子宮頸がんの発症リスク等を記載した、比較検討できるチラシを対象者の保護者へ配布。また、婦人科の医師等の講師を迎えた講演会を開催するなどしたい。また、二十歳以上の方には、町の集団検診等における子宮頸がん検診を推奨し、子宮がんの早期発見、治療につながるよう、併せて検討していく。





みずはし なのゆき
水橋 直行 議員

問 今後のまちづくりは

答 定住、永住に向けた 基礎づくりと働く場の確保を図る

言われる高い水準となつて

おり、老後を安心して暮らせるまちづくりが大切であることを言い続けてきた。

今後のまちづくりのため、現在住んでいる方、U・Iターンの方、更には企業の方に選んでもらい、まちのこれから考えた基盤づくりのための、道路、交通、通信回線、企業誘致について。また、老後を安心して暮らすための福祉についてどう考えているかを聞く。

答弁【総務企画課長】

大崎上島循環道整備については、安全に大型車両通行ができない、車道2車線が確保できない道路には、毎年県に対し要望し、実現の可能性について協議を行っている。今後も引き続き

き早期実現に向け努める。

答弁【住民課長】

マイナンバーカードと連携した地域サービス等ができないかということについては、現在国においてサービス付与等を実施し、マイナンバーカードの普及を推進している。海外では、ネットバンキングやパスポート、電子投票等にも活用されている実例もある。国内においても、地域ポイントの付与で経済活動を促進させる等の取組も始まっており、自治体の創意工夫によりマイナンバーカードの普及も広がっている現状もある。

答弁【総務企画課長】

本町にも、町民の皆様が求める海上交通等料金を含め

た地域サービスへの活用が可能か、国及び関係機関とも連携しながら検討を行う。

通信については、総務省や県、また有識者等の協力も得ながら検討を進め、新たな技術等にも柔軟に対応できる、住民にとって最適となるネットワークの構築を進める。

答弁【福祉課長】

高齢者の方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、保健福祉の環境整備を推進している。福祉施設のこれからの展望は、現在介護老人保健施設みゆきにおいて、医師を確保し、介護サービス事業を継続して運営を行っている。この先、医師の配置を必要としない特別養護老人ホームへの事業転換について、広島

県と連携し協議中、転換の時期については令和3年夏頃になる見込み。

また、町内には介護老人保健施設みゆきのほか、大崎福祉会が2つの特別養護老人ホームを運営している。今後は、介護保険施設の適切な整備を推進し、施設事業者と連携しながら介護サービスの安定化に努める。

地域の見守りの方たちとの連携強化については、安心して生活できるよう、地域住民や社会福祉関係者がお互いに協力して、地域社会の福祉課題の解決に取り組む地域における支え合いについては、身近な地域住民や民生委員、児童委員、高齢者巡回相談員等による子供、高齢者、障害者の方たちの支援が必要な人への声かけや見守り活動を行っている。引き続き、見守りや声かけを推進するとともに、見守りを行う方たちと連携を密にし、必要な場合には相談窓口等へつなげられるよう、安心して地域で暮らし続けていくことができるよう努める。



道林 清隆 議員

問

入札結果公表の
透明性は

答

町ホームページ
掲載で執行の透
明性を高める

質問【道林議員】

土木建築工事の入札執行にあたって、工事個所が旧3町の該当地域の指名業者は応札するが、他地域の指名業者は辞退届を出すといった実態が頻繁にみられる。このことは、果たして公正な競争原理が働いているのか。町が発注する公共工事は地域経済を支える上で大きな役割を果たしている。

直近の大崎地区、木江地区、東野地区それぞれの平均応札業者数と落札率を伺う。さらに、入札執行の透明性を高めるために、その結果を公表することはできないか。

答弁【総務企画課長】

今年度の大崎地区の平均応札業者数は3・8社、平均落札率89・34%。東野地区の平均応札業者数は2社、平均落札率98・73%。木江地区の平均応札業者数は2社、平均落札率は99・32%である。令和3年度から入札結果を町のホームページにも掲載し、入札執行の透明性をより高めていくことに努める。



問

各種補助金の見直しは

答

ヒアリング、定期監査等を実施し
改善事項を指導する

質問【道林議員】

町から補助金、業務委託料等を受け取って活動する団体は数多くあるが、適正に執行されているか否かのチェック体制が脆弱ではないか。

長年に亘って少額の補助金を交付され続けている団体の事業が自助、共助、公助という公助で賄わなければ事業継続が困難なのか。費用対効果をどのように審査し継続事業としているのか。前年踏襲型では現状維持が精一杯で、衰退の道を辿りはしないか。

答弁【地域経営課長】

補助金交付決定や金額の確定は、補助金チェックリストを作成し、補助内容に誤りがないかを確認し、補

質問【道林議員】

補助金を支出している。事業完了後のヒアリングや定期的な監査は実施していないが、今後は補助団体への事業成果のヒアリングや定期的な監査の実施について検討する。

補助事業は自助努力を促すという点で、スタート時点である程度の年限を区切って交付決定をしてもよいのではないか。

答弁【副町長】

大崎上島町補助金等交付規則の規定を基本に、今年度は補助金申請の審査時点で事業費の項目ごとの積算根拠を明確にさせること。また、実績報告時の審査については実績報告書記載金



額について、報告書の鏡だけではなくて通帳、領収書等を確認するところを指示している。次年度以降については、事業成果のヒアリングや定期監査を実施することで、改善すべき事項等については指導する。また、補助支援の所期の目的が達成されたもの、効果が認められないものについては適宜見直しを行なう。

問

シーパーク大串の使用料は

答

わいわいスポーツクラブ会員は年会費の3分の1を町に納入

質問【道林議員】

シーパーク大串の維持管理には毎年多額の費用が掛かっているが、わいわいスポーツクラブ会員については一人当たり年会費の3分の1（1000円）を施設の維持管理費用の一部として町に納入されているが、算出根拠はあるのか。

答弁【教育課長】

わいわいスポーツクラブは平成21年に発足し、町営施設の使用料は条例上クラブ会員は全額免除となっている。平成26年にクラブ内部で1000円の負担金を決めて納付されている。積算根拠は特に無い。



おじり やすじ 議員 尾尻 康二

質問【尾尻議員】

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種が2月17日より医療従事者向けに国内で開始された。感染収束に向け、切り札として期待されており、当町においても接種の開始が待たれている。

ワクチンの接種については保健衛生課からの説明によれば、医療従事者、65才以上の高齢者、基礎疾患のある方より開始する。接種は強制ではなく接種に不安がある方は、かかりつけ医等と相談のうえ、接種を希望する方は、各戸に配布するワクチン接種の申込書を役場の窓口提出する。それから、個別の通知が届き、ワクチンの接種日までにクーポン券が郵送される。接種場所は、島内の5つの

問

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の取組は

答

ワクチンの供給遅れにより日程を調整し予定通り実施する

病院で診療時間内に申し込み接種する。また、各医院に合わせて東野保健福祉センターで各医院の先生が日替わりで13時から15時まで実施するという計画である。

日程も計画されているが、現在、ワクチンの確保が難しくなっており、現在の内容・日程は変更となるのか。

答弁【保健衛生課長】

国のスケジュールにより接種計画を立てたが、国の予定が変更となり、接種がずれ込んでいる。確定した時点で町民の方にチラシを配布して集約していく予定である。また、ワクチンの供給が決まり次第、スケジュールの見直しを立てる。接種の方法は集団、個別の2通りで行く。内容の変更

はなく、日程が変更となる。

再質問【尾尻議員】

現時点でのワクチンの管理方法、接種後に副反応が起きた場合の対応策、接種に関する懸念事項は。

再答弁【保健衛生課長】

ワクチンの管理方法は、保存に必要なフリーザーが国より1台配布されるので、東野保健福祉センター内に耳鼻咽喉科診療所に設置し、管理する。

副反応への対応は、個別接種は、各医院の先生方が処置してもらい、2次救急が出た場合は、関係先に要請文を出して対応してもらう。集団接種は、各医院の先生が接種するが、広島大学の先生に常駐してもらう

副反応に対応してもらう予定である。

懸念事項は、国のスケジュールがなかなか決まらず思ったスケジュールに進まないことである。

【尾尻議員】

ワクチンの確保が難しい状況で、取り組みの遅れも止むを得ないが、体制を整えて町民が安心して接種を受けられる体制を準備してもらいたい。





前田 太 議員
まえだ ぶとし

問 県道整備への取り組みは

答 県に要望し、調整している

質問【前田議員】

町内県道危険個所の整備が遅延している。県の事業ではあるが、木江岩白地区などいつになるのか。私が議員として3期という時間が経過しているが、それ以前から常に提起されている問題だ。県道の整備個所も県の優先順位があるとのことだが、今までのように取り組んできたのか伺う。

答弁【建設課長】

県道事業については、県に対して町の課題を要望すること、実施中の工事の進捗状況の聞き取りなど、県と連携しながら事業の進捗に

努めている。岩白地区については県に要望しているが、通常の道路改良事業では事業採択が困難とのことだ。

今、道路再生改良事業という別事業が現在木江交差点から屋内運動場まで実施中で、次に岩白地区を実施するよう要望し、検討して頂いている。

再質問【前田議員】

場合によっては強制執行という言葉もあった。土地収用は工事環境整備として町の仕事になるのか。当町では考え難いが、土地収用に至ると、収用委員会による裁決で出された補償額に対して土地所有者に不満があるとき、収用裁決の取消訴訟によるのではなく、起業者である県を被告とする

問 柿の浦住宅住民への説明は

答 入居者説明会を開催予定

質問【前田議員】

柿の浦住宅の建て替えについて、住民の方へは個別の説明があると聞いたが、皆さんへの説明会は行わないのか。また違った意見が出てくるのではないか。また、野賀地区への影響も多大であると考えるが、その点を伺う。

答弁【建設課長】

これまで住宅の建て替え方針に基づき、基礎調査として入居者の意向をアンケート調査、次に全戸聞き取り調査を実施した。居住者の方には、建物の老朽化のため建て替えが必要であると説明した。高齢者の方が多く、反対意見も多数あったが、住民側の認識として、建物に損傷が目立つという意見もあり、建て替え事業を進めたい。この住宅の入居者説明会を開催し、

移転が必要な方から個別に移転交渉をする予定だ。

再質問【前田議員】

その際は、1棟ずつ建て替え、野賀区から移動しなくてもよいのか、郷区の新しい住宅に移って頂くのか。また、移動・移転にかかる引越費用の負担は町であるのか。

再答弁【建設課長】

町の方針は、柿の浦住宅1号棟の居住者の方にまず移転して頂く。移転先については2号棟、もしくは建設中の木江定住促進住宅を見込んでいます。個別に協議したい。費用については、内部で協議しているが、まだ発表できる段階ではない。





もりわか いわお
森若 巖 議員

問

単県急傾斜地
崩壊対策事業は

答

区域内に二戸以上
の家屋が必要
で変更はない

問

要望書の対応についてはいつ頃実施予定か

答

令和3年度事業費として実施予定

質問【森若議員】

区民の声を聞き要望書として町に、令和元年6月に提出した二カ所の側溝改修には何の動きもない中で、ある区長が令和元年8月に要望した広場の立木の伐採には9月議会で事業費がつき、伐採処分費469万円で執行。このように対応の早い事例がある反面、対応の遅いものもある。理由を尋ねると諸々の言い訳をし、時間を要するとの事。その後回答が届き、令和3年度で対応との事。しかし、当初予算の中にはそのような記載がないが、本当に令和3年度内に出来るのか伺いたい。

を確保しており、令和3年度中には事業実施予定である。

質問【森若議員】

この事業は、対策家屋が複数の場合は事業対象となるが、そうでない場合は対象外と記憶しているが今でもこの通りか伺いたい。令和2年9月定例会において、この事業の二カ所の工事場所の調査設計費として、約1000万円が計上されているが、この内一カ所は対象家屋が一軒だと思いが、いつの時点で一軒でも出来るように変更になったのか伺いたい。仮にこの場所の工事が可能なら、以前は工事対象外と言っていた場所もさかのぼって工事対象になるのか伺いたい。

答弁【建設課長】

ご指摘の通り、被害が生じる区域内に人家が二戸以上ある場合と変更はない。一戸の場合は今でもこの事業は出来ない事となっている。心配な斜面がある時は、もう一度役場に相談していただきたい。

再質問【森若議員】

この事業の場合、受益者負担は事業費の10%か。

再答弁【建設課長】

負担金は工事費の10%。



答弁【建設課長】

遅延の理由は、災害復旧破損個所の修繕を優先しており、側溝の改修は未着手となっている。当該側溝の改修に要する経費は、令和2年度の繰り越し事業として予算

問

令和2年9月定例会での随意契約についての答弁内容に変わりはなく

答

変わりない

質問【森若議員】

以前にも言ったように、随意契約とは国交省の資料によると、設計監理業務費については各50万円が最大とばかり明記されているが「50万円を越えた管理業務費があるか」の問いに、総務企画課長は、地方自治法施行令第167条第1項第2号から第9号に該当する場合はこの限りではないと答えた。今もこの答弁は変わらないか。それと、地方自治法施行令第何号に該当する場合はこの限りではないと書かれているのか伺いたい。

答弁【総務企画課長】

地方自治法施行令第167条の2第1項第1号から第9号までにおいて、随意契約をすることが出来る場合が、規定されている。なお、第1号には、普通地方公共団体の規則で定める額を超えないものをするときと随意契約の内容により契約額の上限を規定しており、第2号から第9号までには、第1号のほか、随意契約ができる場合が具体的に規定されている。

また、お渡しした資料には一括契約のようになっており誤解を与えた事をお詫びする。

令和3年度からは建築工事に關しては設計監理業務は、原則一契約で締結する事としている。

総務福祉文教常任委員会報告

委員長：閑田大祐 副委員長：渡辺年範
委員：越田賢一 道林清隆
前田 太 水橋直行

大崎上島町議会12月定例会以降に開催した、委員会での主要な調査、協議事項及び、継続審議した内容と事業内容の審議について報告します。

○課の再編

現在、大崎上島町役場には8つの課がありますが、このうち総務企画課と住民課が分割され、4月からそれぞれ総務課と企画課、住民課と税務課となります。平成28年に職員数の減少を理由に現在の組織体制となっていました。重要施策の取り組みを加速させるため、再度分割するものです。

委員からは、職員数不足が解消されていないことなどへの懸念が示されました。

○コロナによる影響

町の各施設の利用状況の報告を受けました。ふれあいの館は例年の3分の1程度、各種体育施設は使用禁止期間等の影響で大幅な利用者減となりました。

また、入湯税は前年比172万円の減となっています。

○学習交流センター

学習交流センターの運営状況について報告を受けました。3年生は3人と少ないですが、2年生は9人、1年生は10人となっています。

令和3年度の入寮希望者は1月末現在で36人となっており、新年度はほぼ満室となる見込みです。各学年10人としている定員を超える場合は、選抜Ⅰ、選抜Ⅱ、

選抜Ⅲでそれぞれ県外の学校から距離が遠い者から優先しています。

○火葬場「大峰苑」

火葬場の使用件数などを聞き取りました。例年、140件程度ですが、令和2年度は若干少なく推移しています。



○交通対策

おと姫バスの路線形態が複雑で利用しにくいという声が多いため、新たな交通事業の検討が行われます。現段階では、デマンド交通について検討・試行する予定です。



議会傍聴をしてみませんか。

次回の定例会は**6月**です

日程は町内放送・ホームページでお知らせします。

お知らせ

○本庁・各支所ロビーのテレビまたはインターネットで議会生中継がご覧いただけます。

※インターネットをご利用の場合はホームページの注目記事「○○議会ただいま生放送中」をクリックしていただければご覧いただけます。

産業建設常任委員会報告

委員長：尾尻康二 副委員長：森若 巖
委員：上青木至 信谷俊樹
浜田明利 浜田幸造

令和2年12月定例会以降の委員会報告を行います。各課から2月定例会で議案となる主な条例案、補正予算案、繰越事業の進捗状況などの説明を受けて審議をしました。

○大崎上島町空家等対策協議会の設置

平成30年1月に「大崎上島町空家等対策計画」が制定されていますが、増加する空家の適切な管理の確保を図るため、令和3年3月に10名の委員による協議会を設置し、審議します。

○大崎上島町営大串キャンプ場及びシーカヤック艇庫の指定管理

令和3年4月より新たに「有限会社栄山建設」が指定管理者となります。

今後は、平等な利用の確保と利用者サービスの向上・施設の効率的な活用を計画的に実施できるように指定管理者と文書で確認します。また、指定管理者が自主事業・利用条件の変更

を行う場合は、事前に実施計画書を提出し、町が審査する体制とします。

○新たな漁港漁場整備事業

○成果の検証

・海底の耕耘とカキ殻の投入によりアマモが増加しました。

・二枚貝の放流を実施しましたが、8か月の生存率が40%程度でした。港内の複合養殖・畜養は誘導礁・餌形成礁の投入により、多種類の魚の増加が確認できました。

○今後の取組

新たな漁港漁場整備事業でアマモの再生試験と湾内に誘導礁を設置し、集魚実験を実施していますが、単年度では結果がでにくいので、令和3年度も予算278万円を計上して、大崎内浦漁業協同組合が継続して取り組みます。



○体験型修学旅行

令和3年度の民泊受け入れは、上期（4月～8月）は中止。下期（9月以降）は、新型コロナウイルス感染症が終息に向かうことを前提に、再開を目指す予定です。なお、下期の受け入れ予定校は、高等学校3年、生徒数809人です。



○水道事業の広島県水道企業団設立準備組織への参加

「広島県水道広域連携推進方針」が令和2年6月に策定され、「県内1水道」構想が計画されています。

本町は県内の水道事業の経営組織を一元化し、全体最適を図りながら事業の運営を行うことができる「統合による連携」へ参加します。なお、令和3年度より広島県水道企業団設立準備組織を設置し、令和4年11月企業団設立。令和5年4月から事業開始予定です。



大崎上島町議会議員

3月21日の大崎上島町議会議員選挙において、新たな議員10名が決まりました。
令和3年4月1日から令和7年3月31日までの4年間、大崎上島の町政の発展のために
活動していきます。どうぞよろしくお願いいたします。(50音順)



ふりがな かんだ だいすけ
名前 閑田 大祐
住所 中野1470-2



ふりがな おじり やすじ
名前 尾尻 康二
住所 中野3548



ふりがな うえあおき いたる
名前 上青木 至
住所 中野4920-11



ふりがな はまだ こうぞう
名前 浜田 幸造
住所 木江5076



ふりがな のぶたに としき
名前 信谷 俊樹
住所 明石2492



ふりがな しんとう まさみち
名前 進藤 雅通
住所 大串539



ふりがな わたなべ としのり
名前 渡辺 年範
住所 東野163-1



ふりがな もりわか いわお
名前 森若 巖
住所 東野2515



ふりがな もり るい
名前 森 ルイ
住所 東野1169-3



ふりがな みずはし なおゆき
名前 水橋 直行
住所 中野4593-28

副議長



水橋 直行副議長

議長



尾尻 康二議長

委員会委員決定

産業建設常任委員会 (5名)

企画課、地域経営課、建設課、上下水道課の所管に関する事務



委員長	森若 巖
副委員長	上青木 至
委員	浜田 幸造 信谷 俊樹
	尾尻 康二

総務福祉文教常任委員会 (5名)

総務課、税務課、住民課、福祉課、保健衛生課、教育委員会の所管に関する事務



委員長	閑田 大祐
副委員長	渡辺 年範
委員	進藤 雅通 水橋 直行
	森 ルイ

広報調査特別委員会



委員長	水橋 直行
副委員長	浜田 幸造
委員	森若 巖 進藤 雅通
	森 ルイ 上青木 至

議会運営委員会



委員長	渡辺 年範
副委員長	上青木 至
委員	閑田 大祐
	森若 巖

追跡 あれからどうなった

(平成27年12月定例会一般質問から)

質問

野賀海水浴場周辺の整備を

回答

全面改修も検討

その後の経過

平成29年度において、バス待合所と公衆用トイレを新築しました。

平成31年度から令和3年度において、駐車場下等の雑木を伐採し眺望を良くし、観光客及び海水浴客が安心して楽しめる環境整備をしています。

また、令和3年度に野賀海水浴場周辺の利便性の向上と、年間を通して利用できる観光スポットとなるように整備計画を策定します。



編集後記



3月になり、春の気配は感じられますが、寒い日がぶり返しており、本格的な春の到来が待たれます。

この1年間は新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、昨年末には第三波が起これり、都市圏には緊急事態宣言が発令されています。現在、かなり収まってきましたが、終息は見通せない状況です。

イベントやさまざまな行事が中止、延期となり、経済への影響も大きくなっており、延期されたオリンピック・パラリンピックの開催が、迫っており、コロナ禍を乗り越えた大会開催が期待されています。

また、終息への切り札となるワクチンの接種が2月より始まりましたが、ワクチンの確保が困難となっており、接種の停滞が懸念されますが、接種の進展を図ることが大きな課題となっています。

島内においても、体験型修学旅行の民泊受け入れが中止となるなど、また、祭

運動会、入学式、卒業式、スポーツイベント等も中止、延期、規模縮小となりました。特に、宿泊業・飲食業の売上減少等により島内経済は落ち込み、停滞しています。

2月の定例会においては115億円の予算が決まりました。

厳しい財政運営は続きませんが、元気に住み続けたい、安心・安全に暮らせる町づくりに向けてさまざまな事業を実施して、コロナ禍を克服すべく経済の回復に取り組みます。

また、今回の改選により定員が2名減となり10名の新議会となります。

新議員は、気持ち新たに、職責を果たすべく、町政の課題解決に向けて取り組みますので、町民の皆様のご支援をよろしく願います。

(〇)

大崎上島町議会

TEL(0846) 65-3130(直通)

FAX(0846) 65-3117

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

URL:<http://www.town.osakikamijima.hiroshima.jp/>

議会広報委員

委員長
副委員長
委員

閑田大祐
水橋直行
上青木至
尾尻康二
越田賢一
森若 巖